



## 平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月3日

上場会社名 株式会社ジーフット 上場取引所 名  
 コード番号 2686 URL http://www.g-foot.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神谷和秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画本部長 (氏名) 秀島高広 TEL 052-732-7789  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 平成26年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第2四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	54,038	7.1	2,745	27.6	2,750	27.8	1,569	28.5
26年2月期第2四半期	50,469	—	2,151	—	2,151	—	1,221	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	75.38	—
26年2月期第2四半期	58.65	—

- (注) 1. 当社は、平成25年2月期より決算日を1月20日から2月末日に変更しております。これに伴い、26年2月期第2四半期（3月1日から8月31日まで）と比較対象となる25年2月期第2四半期（1月21日から7月20日まで）の期間が異なるため、26年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	57,710	19,903	34.5	955.57
26年2月期	54,319	18,514	34.1	888.89

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 19,903百万円 26年2月期 18,514百万円

(注) 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年2月期	—	20.00	—	—	—
27年2月期（予想）	—	—	—	10.00	30.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、平成27年2月期（予想）における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、当該株式分割前に換算すると20円00銭になり、年間配当は40円00銭となります。

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,000	8.8	5,500	23.2	5,480	23.9	2,500	14.6	120.03

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無  
 2. 当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数（自己株数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 有  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	20,834,700株	26年2月期	20,834,700株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	6,142株	26年2月期	6,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	20,828,558株	26年2月期2Q	20,830,686株

（注）当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業的前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)において、3月度は消費税率引き上げ前の駆け込み需要による売上の増加、4月度以降は増税後の反動減及び全国的に不安定な天候が続いたことによるサンダルの売れ行き低迷がありました。8月度に入ってから、秋物商品の投入を早めたことにより、既存店売上が102.9%と前年を上回りました。

当第2四半期累計期間は価値あるPB(プライベートブランド)商品の開発に注力するとともに、お客さまの多様な価値観に応えられるよう、幅広い分野の商品提案に取り組みました。

具体的には、ASBe eではスニーカーブームの流れに乗ったファッション性の高い商品が好評でした。さらにより多くのお客さまにご支持いただけるよう、テレビやインターネットなどのマスメディアを通じた販促活動を積極的に行いました。グリーンボックスではグループでの出店を積極的に進め、運動会や母の日等の社会行事に対応した売場づくり、シニアのお客様に履き心地の良い靴をご提案するなどの取り組みを行いました。また、フィッティングアドバイザー資格者を1,833名と増加させ接客サービスの向上に取り組むとともに、i-padを活用したウィークリーマネジメントの徹底や成果事例の水平展開を行いました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、540億38百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

また、売上総利益率が44.7%(前年同期比0.9%増)、営業利益27億45百万円(前年同期比27.6%増)、経常利益27億50百万円(前年同期比27.8%増)、四半期純利益15億69百万円(前年同期比28.5%増)と過去最高益となりました。

なお、当第2四半期累計期間の出退店につきましては、グループ内への出店強化により、出店70店舗、退店13店舗を実施し、四半期末店舗数は792店舗となりました。

当社はセグメント情報を記載しておりませんが、商品別売上状況は次のとおりであります。

商品別売上状況

商品別	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)
婦人靴	15,623	28.9	99.2
紳士靴	8,956	16.6	105.3
スポーツ靴	15,603	28.9	113.0
運動靴・子供靴	10,039	18.6	111.9
その他	3,816	7.0	111.6
合計	54,038	100.0	107.1

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は577億10百万円となりました。これは主に店舗数の増加により、前事業年度末と比較して33億90百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は378億7百万円となりました。これは主に短期借入金の増加により、前事業年度末と比較して20億2百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は199億3百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加により、前事業年度末と比較して13億88百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ14億85百万円減少し、10億75百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において税引前四半期純利益26億99百万円を計上したものの、売上債権及びたな卸資産が増加したことにより営業活動を行った結果、使用した資金は50億99百万円（前年同期比32億36百万円増）となりました。

売上債権は主にディベロッパーに対する債権であり、当第2四半期会計期間の末日が日曜日のため翌営業日の入金となり、41億67百万円増加しております。また、たな卸資産は店舗数の増加の影響を受け、13億31百万円増加しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において有形及び無形固定資産の取得等により投資活動を行った結果、使用した資金は7億10百万円（前年同期比1億29百万円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において長期借入金の返済による支出があったものの、短期借入金が増加したことにより財務活動を行った結果、得られた資金は43億24百万円（前年同期比25億35百万円増）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期通期の業績予想につきましては、現時点では平成26年7月2日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社における倉庫在庫の評価方法は、従来、個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっておりましたが、第1四半期会計期間より、移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

これは、在庫管理システムの入替を機に、期中における仕入価格の一時的な変動による在庫評価への影響を排除し、より適正な期間損益を算定するとともに、倉庫在庫の増加に対応し、在庫金額確定を迅速化・効率化することを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（3）追加情報

（法人税率の変更等による影響）

平成26年3月31日に「所得税法等の一部を改正する法律（平成26年法律第十号）」が公布され、平成26年4月1日以降開始する事業年度より復興特別法人税が廃止されることとなりました。

これに伴い、平成26年4月1日以降開始する事業年度において解消が見込まれる一時差異等については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率は37.8%から35.4%に変動いたします。なお、平成27年4月1日以降開始する事業年度において解消が見込まれる一時差異等についての繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率の変動はありません。

この税率変更により、繰延税金資産が8百万円減少し、法人税等調整額が8百万円増加しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,562	1,076
売掛金	249	340
売上預け金	2,125	6,201
商品	31,974	33,305
その他	2,165	1,801
流動資産合計	39,077	42,727
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,478	3,461
土地	995	938
その他(純額)	904	791
有形固定資産合計	5,378	5,191
無形固定資産	461	416
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,263	6,328
その他	3,142	3,049
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	9,402	9,374
固定資産合計	15,242	14,983
資産合計	54,319	57,710
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,263	21,027
短期借入金	3,500	8,000
1年内返済予定の長期借入金	1,561	1,565
未払法人税等	1,737	1,100
ポイント引当金	279	305
賞与引当金	225	242
役員業績報酬引当金	14	19
その他	3,226	3,588
流動負債合計	33,808	35,848
固定負債		
長期借入金	1,200	1,180
退職給付引当金	28	21
役員退職慰労引当金	41	24
執行役員退職慰労引当金	9	8
資産除去債務	687	695
その他	28	28
固定負債合計	1,996	1,958
負債合計	35,804	37,807

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,326	3,326
資本剰余金	3,157	3,157
利益剰余金	11,133	12,547
自己株式	△4	△4
株主資本合計	17,613	19,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	901	876
評価・換算差額等合計	901	876
純資産合計	18,514	19,903
負債純資産合計	54,319	57,710



(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
売上高	50,469	54,038
売上原価	28,362	29,894
売上総利益	22,107	24,143
販売費及び一般管理費	19,956	21,397
営業利益	2,151	2,745
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	24	26
その他	4	7
営業外収益合計	29	34
営業外費用		
支払利息	27	29
その他	0	0
営業外費用合計	28	29
経常利益	2,151	2,750
特別損失		
固定資産売却損	—	20
固定資産除却損	14	15
減損損失	24	14
店舗閉鎖損失引当金繰入額	41	—
その他	9	0
特別損失合計	90	51
税引前四半期純利益	2,060	2,699
法人税等	839	1,129
四半期純利益	1,221	1,569

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,060	2,699
減価償却費	587	574
売上債権の増減額(△は増加)	△3,428	△4,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,183	△1,331
仕入債務の増減額(△は減少)	1,328	△2,236
その他	935	976
小計	△700	△3,485
利息及び配当金の受取額	24	26
利息の支払額	△27	△32
法人税等の支払額	△1,159	△1,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,862	△5,099
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△1
定期預金の払戻による収入	1	1
有形及び無形固定資産の取得による支出	△300	△625
有形固定資産の売却による収入	—	56
敷金及び保証金の差入による支出	△102	△72
敷金及び保証金の回収による収入	98	76
関係会社出資金の払込による支出	△200	—
その他	△335	△145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△839	△710
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600	4,500
長期借入れによる収入	—	800
長期借入金の返済による支出	△664	△815
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△146	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,788	4,324
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△914	△1,485
現金及び現金同等物の期首残高	2,885	2,561
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,970	1,075

- (4) 四半期財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
該当事項はありません。